



ほけんのまどから



6月感染症情報

アデノウイルス 乳児 2名

ヘルパンギーナ 乳児 5名

乳児クラスで突然の高熱が出る症状が多く見られました。近隣地域ではヘルパンギーナやアデノウイルス等の夏風邪が流行しています。発熱時は水分を少量ずつこまめに飲み脱水を防いで行きましょう。

熱中症を防ぐ為に・・・

☆服装に気を付けましょう

帽子をかぶり、通気性のある服装にしましょう。

☆子どもを観察しましょう

日陰で遊ぶようにし、ちょっとでも変だなと感じたら、涼しいところで十分に休憩させましょう。

☆水分をこまめにとらせましょう

喉が渇く前に水やお茶、経口補水液などを飲ませましょう。

！！こんなときは危険！！

- ・めまい、ふらつき、嘔吐などの症状があるとき
- ・体温が高いとき(38℃以上)
- ・皮膚が乾燥しているとき
- ・意識障害があるとき

麻疹感染が拡大中

今年4月から全国で麻疹の患者が数名確認されています。

麻疹は感染力が非常に高いです。

※一人の感染者が、他の人に移してしまう数は、新型コロナウイルスでは2～5人のところ、麻疹はなんと12～18人です。

・空気中のウイルスを吸い込むだけでも感染するので、免疫がないと高確率で感染します。症状は熱・咳などの風邪症状から口の中、顔、全身に赤いブツブツができます。

麻疹は脳炎や肺炎などの重要な合併症を起こすことがあります。合併症になった人は1000人に一人が亡くなると言われています。また、感染からおよそ2～10年後に脳炎をおこす事があり脳に大きな後遺症を残します。

予防法はワクチン接種だけです。1歳を迎えたらできるだけ早くMRワクチンを受けましょう。



夏の屋外活動について
保育園では、屋外活動時に左記の熱中症指数計を用いて活動内容を決めていきます。

熱中症指数計:写真左上
熱中症が起きやすい外的環境を知るための指標(WBGT)を測定するもの。気温だけでなく、湿度や輻射熱も考慮した測定値を出すことができる。

指標:

WBGT31℃以上で屋外活動中止とします。

WBGT28℃～31℃の間でも、水をまく、短時間の活動にする等配慮をしながら行います。

子どもや職員の体調を考慮しながら、無理のない活動内容を決定していきます。



子どもたちを

事故から守ろう！

*日本小児科学会 injury Alert から紹介します
1歳「太陽光で熱せられたベランダの足裏熱傷」
ベランダは南向きで夏場は大人でもサンダルなしでは歩けない程高温になる場所だった。児から目を離していた時に一人でベランダに出て泣いている所を発見。足裏に水疱ができておりⅡ度の熱傷だった。その後感染を起こし入院治療が必要となった。

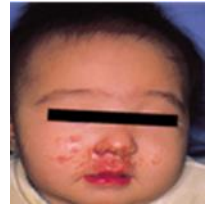
☆今年も夏日を越える日が続く予報です。戸外の床や遊具は思いのほか高温になっていることがあります。注意が必要です。自宅周囲の環境を今一度見直してみてくださいね。

とびひ・水いぼ 早めにケアしよう！！

じめじめした梅雨時期、肌の機能も未熟である為、肌トラブルが起きやすくなります。プールに向けて、いま一度、お子さんの皮膚の様子をよく見てあげてください。

☆とびひがある場合

掻き壊した傷から菌が入り皮膚の赤み、水ぶくれなどの症状がでます。受診し早めに治療をしましょう。**とびひは早期に治療をすれば数日で良くなる**ことがほとんどです。登園時はガーゼや衣類で覆うようにしましょう。滲出液しんしゅつえきが出ている状態は傷の治りを遅くしたり、他のお子さんへの感染のおそれもあるためプール、水遊びはできません。



☆水いぼがある場合:

水いぼは、いぼの中にウイルスがいます。いぼを掻いた後などに滲出液が他の子どもに接触した場合、感染の恐れがあります。**普段は接触しないように衣類で覆うようにしましょう。**水遊びの時は、水着やラッシュガードで覆ってください。

水いぼの治療は、ピンセットや液体窒素で除去する、塗り薬を塗る、自然治癒を待つ等の方法があります。

水いぼの位置や大きさによって治療方法は変わってきますので、小児科、皮膚科医と相談してください。



↑水いぼ

引用) マルホ

アタマジラミにご注意を！！

頭ジラミは人の頭部に寄生し、血を吸って生きている害虫です。シラミに吸血された後はかゆみを生じる事があります。アタマジラミというと、「不潔」といったイメージがあるかもしれませんが、衛生状態に関係はありません。頭や体をくっつけて遊んだり、タオルや帽子などを共有したりすることでうつります。アタマジラミが見つかったら、専用シャンプーで駆除をします。一緒に生活しているとうつつている可能性があるので家族全員で駆除します。

☆毎日洗髪し、時々丁寧に大人が洗髪してドライヤーでよく乾かす。(熱に弱い為)

☆長い髪はしばる。

☆タオルや帽子の共有はしない。(タオルを介してうつる為)

☆こまめに掃除機をかける。

☆アタマジラミがないか時々チェックする。

予防ポイント...



←髪についている卵 0.5mm程。

卵は髪にしっかり固着していて動きません。

ヘアキャスト(フケ)は簡単に動きます。

夏に注意したい感染症(登園許可届が必要です！)

ウイルス感染により起こる病気です。感染力が強い病気なので、必ず受診しましょう！



☆ヘルパンギーナ

急に高熱が出て、喉の痛みが出ます。乳幼児の場合は、よだれが増える・食欲低下・不機嫌などが主な症状です。

☆手足口病

手のひら・足の裏・口の中に発疹や水疱ができます。熱は出る場合と出ない場合があります。



☆咽頭結膜熱(アデノウイルス・プール熱)

高熱・喉の痛み・目の痒みや充血・活気がないなどがあります。

☆流行性角結膜炎(はやり目)

結膜の充血・かゆみ・目やに・涙が出る・まぶたの腫れなどがみられます。感染力が非常に強いので、タオルの共用をしないようにしましょう。

